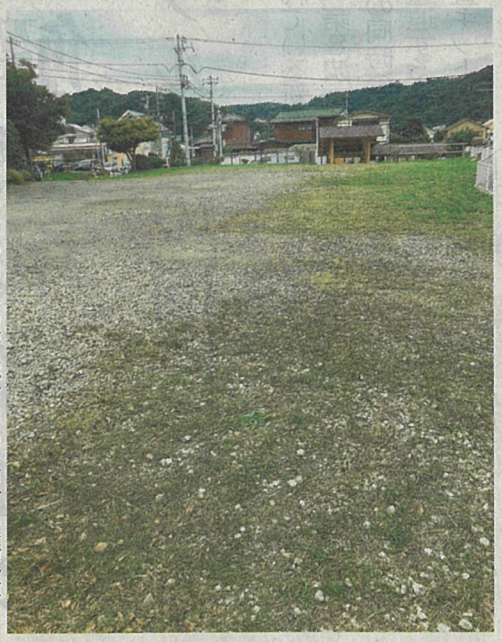
移転40年 進まぬ利活用

旧葉山町役場跡地

好立地も用途絞れず

葉山町一色の旧役場跡地が注目を集めている。役場が移転して40年近くたっても更地のままだが、隣接するバス停の立派な上屋が今春完成し、存在がクローズアップされる形に。町は2025年１月の町制施行100周年に向け、利活用策を検討する方針だ。（佐藤　浩幸）


利活用策が決まらない旧役場跡地。前方の上屋とは階段でつながっている＝葉山町一色

旧役場跡地は国道134号に面し、広さは1800平方㍍。老朽化と手狭になったため庁舎は1984年に現在の場所（同町堀内）へ移転した。かつての木造庁舎は91年に取り壊され、現在は更地の状態。駐車場や資材置き場として民間に貸し出している。

葉山御用邸からも約400㍍と近く、立地条件に恵まれている。町によると、これまでにさまざまな利活用案が浮上したが絞り切れず、具体的な利活用の計画はない。最近では、各公共施設の老朽化に伴う再編・統廃合の複合施設の候補地にも挙げられているという。

そんな中、今年3月に隣接するバス停「旧役場前」の上屋が完成した。総ヒノキ造りの銅ぶき屋根で、総事業費は約1600万円。背後には旧役場跡地と結ぶ階段までこしらえた立派な造作が、跡地の閑散ぶりを浮き上がらせている。

町議会は10月に終了した第3回定例会で、2023年度の予算編成に向けた政策提言に旧役場跡地の利用計画を早期に策定するよう求める要望を盛り込んだ。町担当者は「提言は重く受け止める」とする一方、「町有地でまとまった広さの空き地は少なく、貴重な場所。他の未利用地などと合わせ、全体計画の中で活用策を検討していきたい」としている。

市教育委員会が取り組みを本格化させている。本年度から全7区で1校ずつモデル校を指定。需要把握とともに、全校共通のガイドラインの作成を進め、202

拡大直前の19年度は、市立小学校114校のうち80校以上が平日放課後に校庭を開放していた。しかし、校外でボールで遊べる場所が少ないことから、さらに校

守り役を担ってもらっている。モデル校の児童や保護者を対象にアンケートを実施し、需要や遊び方、利用時間帯などについて調査もしている。

校庭開放が実施され、ボール遊びなどを楽しむ子どもたち＝川崎市幸区の市立古川小学校

声が上がった。

市教委の担当者は「地域ぐるみで子どもを育み、伸び伸びと自由に遊べる場所を提供していきたい」としている。（武藤　龍大）

公害病患者の声伝える場を要望

川崎　気管支ぜんそく患者を対象とする医療費助成制度の見直しを巡り、「川崎公害病患者と家族の会」が10日、川崎市に対し、患者の声を直接伝える場を設けるよう求める文書を提出した。

市は、アレルギー疾患対策として、気管支ぜんそく患者の医療費の一部を独自で助成しているが、加えて、食物アレルギーなど他のアレルギー疾患についても支援するため、助成制度の見直しや新たな支援について検討を始めた。市は5月、市地域医療審議会に諮問

設けるよう申し入れたが、市は書面の提出を求めた。

同日の会見で、丹操会長は「命綱のような助成制度を後退させるべきではな

調理師上級専科2年制／調理師専科1年制（高卒以上）
調理師高校コース3年制（中卒）
学校法人／厚生労働大臣認定校／国家試験免除校
ヨコスカ調理製菓専門学校
横須賀市汐入町2-9　京急・汐入駅3分　JR横須賀駅5分
☎046 826-3848

赤レンガ倉庫がクリスマス一色

横浜　倉庫（横浜市中区）で25日から、恒例の「クリスマスマーケット」が開かれる。イベントシンボルである高さ約10㍍の生木のクリスマスツリーも登場。夜には金銀の装飾とライトアップに加え、「ヒュッテ」と呼ばれる小屋や人形のオブジェも会場を彩り、クリスマスムード一色となる＝写真（株式会社横浜赤レンガ提供）。12月25日まで。

過去最多の14

する物販店では

リーやスノー

リスマスを盛り

ズがそろう。

気のドイツ製

グカップを販売

ローストビー

漂流の男ガイドら

横浜　救助したとして署は10日、遊川寿希さん（26本淳二さん（47上順英さん（35贈った＝写真。3人は10月11ごろ、横浜港内いた40代男性をていた遊漁船に陸に戻り、救急いだ。男性は

求めた